認定看護師教育課程修了後の活動

大分県厚生連鶴見病院

水野佳代

私は、患者・家族のケアを深め、広めていけたらと思い入学し、修了後の今は一般病棟での業務の中でも患者・家族との関わりを持つように心がけています。

患者・家族の不安な気持ちをベッドサイドで聴く時には、気持ちに寄り添う大切さ、言葉の裏にある想いなど、教育センターでの学びが役立ち、私の強みとなっています。

日本財団からのご支援を頂き、大変貴重な学びをする事ができました事に深く感謝いたします。

認定看護師教育課程修了後の活動

独立行政法人　国立病院機構　長崎川棚医療センター

冨川正子

６か月間の研修期間を終え自施設に戻り、神経難病の病棟に配置になりました。筋ジストロフィーやALS他、様々な、神経筋疾患患者の緩和ケアの質の向上へむけて、日々悩みながら看護をしています。日本財団からの多大なご支援を受け、学ぶ事ができた感謝の気持ちを、今後、患者・家族への看護、施設での実践モデルとしての活動をすることでお返ししていきたいとおもいます。

認定看護師教育課程修了後の活動

出水総合医療センター

吉本　理加

患者の苦痛を少しでも緩和したい。そのためには、確かな知識と技術が必要であることを学びました。現在は、まだまだ十分な活動はできていないのが実状ですが“患者の声を誠実に聞き寄り添うこと、そしてその声をしっかりとアセスメントしてケアを提供していくこと”を忘れず自分一人でなく患者を取り巻く沢山の人と取り組んでいきたいと思っています。

認定看護師教育センターで学ぶことは家庭を持つ自分にとって経済的にも難しいことでありましたが、日本財団からのご支援を頂き自分の目指す看護を学ぶことができました。ありがとうございました。